

キャラクター名
ヨミ

プレイヤー名



ポジション	コート	享年	15歳
メインクラス	レクイエム	暗示	反転
サブクラス	ステージー	寵愛点	2

初期配置	花園
最大行動値	13

能力値	クラス	修正	合計
武装	3	0	3
変異	1	1	2
改造	0	3	3

記憶のカケラ	内容
廃棄(基本31)	捨てられた。仕方がない。諦めるしかない。だって自分のせいだから。自分がダメだったから。そうでしょう？
懲罰(最果β31)	痛くて辛くて理不尽な罰。いや、きっと自分が悪いから…自分が失敗したからなのだ…きっとそうに違いない。
買い物	慣れない街に買い物に出かけて、本屋に寄った。そこにあったのは終末期世界でもう珍しかった仕掛け絵本。引き込まれるような夜の色彩に、とても心惹かれて、気が付けばそれを手に取っていた。
仕掛け絵本	あなたにしては珍しかったことだ。あんなにも強く何かをなだるなど。彼はそれが懐かしかったらしく、あなたに優しく微笑んで。そっと頬を撫でてから、それを共に買いに行った。
シェルター	そこは楽園。だって危険がないのだから。何かあればそこに逃げればいいとアルメンスは言っていた。だがそれが叶わなかった。楽園に至る道は、あなたたちにはなかった。
本	纏んで、買って、集めて。その全ては読むためだった。置いておくためなどではない。だから間違いない。誰かあなたに代わって。けれど記憶をたどっても中身がわからない。
拉致	だがノーザンと別れた瞬間は涙が止まらなく、あなたにとって有難くて、もっと言うならば、あなたの家族にとっても有難かった。覆われたあなたはいかに堪えてたか。花弁と散る涙の中で記憶を呼び起こし、そして結局、裏切られた。

未練			
対象	種類	狂気点	発狂時ペナルティ
たからもの	依存	3 ①②③④⑤	パーツとして所持。破壊で狂気点+1
ライラ	憧憬	3 ①②③④⑤	
シオン	友情	3 ①②③④⑤	
イナホヘ	嫉妬	3 ①②③④⑤	
		3 ①②③④⑤	
		3 ①②③④⑤	

マニューバ							
タイプ	損傷	名前	使用	タイミング	コスト	射程	効果
ポジション		助言		ジャッジ	0	0~2	支援1か妨害1
ポジション		看破		ラピッド	0	0~3	「ラピッド」「ダメージ」「ジャッジ」マニューバ1つの効果を打ち消す
ポジション		憎まれ役		オート	効果参照	効果参照	他の姉妹が狂気判定に失敗・大失敗をした際、任意の狂気点に1点加える代わりに成功に変えても良い。
メインクラス		銃神		オート	なし	自身	射撃攻撃マニューバの攻撃判定において、出目+1
メインクラス		集中		ラピッド	2	自身	以後、ターン終了まで自身の攻撃判定の出目+1
サブクラス		失敗作		オート	なし	自身	攻撃判定・切断判定の出目は全て+1。ただし、バトルパートでの毎ターン終了時および戦闘終了時、任意のパーツ一つ損傷。
サブクラス		死人の流儀		ジャッジ	効果参照	0~1	任意の基本パーツ1つ損傷する代わりに支援2か妨害2
				オート			
頭		のうみそ		オート	なし	自身	最大行動値+2
頭		めだま		オート	なし	自身	最大行動値+1
頭		あご		アクション	2	0	肉弾攻撃1
頭		カンフー		オート	なし	自身	最大行動値+1
頭		ボルトヘッド		ジャッジ	1	自身	支援2
頭		スコープ		ジャッジ	0	自身	支援2 射撃・砲撃攻撃にのみ可
頭		よぶんなめ		ジャッジ	1	0~1	支援2
頭		アクセサリー		オート	なし	自身	星のヘアピン
				オート			
腕		こぶし		アクション	2	0	肉弾攻撃1
腕		うで		ジャッジ	1	0	支援1
腕		かた		アクション	4	自身	移動1
腕		熊撃ち銃		アクション	3	0~2	射撃攻撃3
腕		対戦車ライフル		アクション	4	1~3	射撃攻撃5
腕		仕掛け絵本		オート	なし	自身	かつて街で買った絵本
				オート			
胴		せぼね		アクション	1	自身	同ターン内の次カウントで使うマニューバ1つのコスト-1 (最低0)
胴		はらわた		オート	なし	なし	なし
胴		はらわた		オート	なし	なし	なし